

平成28年度 定期作況報告

(8月20日)

地方独立行政法人
北海道立総合研究機構
中央農業試験場

水稻の部

水田農業G(岩見沢市)

I 気象概況

7月下旬:平均気温は平年より0.1℃低く、降水量は平年の208%、日照時間は平年の110%であり、多雨、多照に経過した。

8月上旬:平均気温は平年より0.9℃高く、降水量は平年の112%、日照時間は平年の151%であり、多雨、多照に経過した。

8月中旬:平均気温は平年より0.3℃高く、降水量は平年の325%、日照時間は平年の112%であり、多雨、多照に経過した。17日および20日は日降水量が100mmを上回った。

以上、1ヶ月を通じ平均気温は平年より0.4℃高く、降水量は平年の239%、日照時間は平年の125%であり、多雨、多照に経過した。

7月下旬～8月中旬気象表

項目	7月下旬			8月上旬			8月中旬			平均(合計)		
	本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較
最高気温(℃)	25.5	26.2	△ 0.7	29.2	27.8	1.4	27.0	27.0	0.0	27.2	27.0	0.2
最低気温(℃)	18.3	17.7	0.6	18.9	19.0	△ 0.1	19.2	18.9	0.3	18.8	18.5	0.3
平均気温(℃)	21.2	21.3	△ 0.1	23.7	22.8	0.9	22.8	22.5	0.3	22.6	22.2	0.4
降水量(mm)	69.0	33.1	35.9	45.0	40.3	4.7	228.5	70.2	158.3	342.5	143.6	198.9
日照時間(hr)	61.7	56.1	5.6	86.0	57.1	28.9	56.4	50.2	6.2	204.1	163.4	40.7

注1) データは「アメダス岩見沢」を使用し、平年値は前10ヶ年の平均値を用いた。

注2) 表中の気温は期間内の平均を示し、降水量と日照時間は期間内の積算値を示した。

II 作 況

8月20日 平年並

事由:7月下旬から8月上旬までの気温はほぼ平年並に経過し、出穂期は「きらら397」、「ななつぼし」、「ゆめぴりか」でそれぞれ6日遅かった。稈長は、「きらら397」、「ななつぼし」、「ゆめぴりか」で平年比101%、98%、99%であった。穂長はそれぞれ平年比96%、97%、96%であった。穂数はそれぞれ平年比118%、110%、110%であった。すなわち稈長および穂長は平年並で、穂数は平年より多かった。

以上により、8月20日時点の作況は、平年並である。

参考

7月20日 平年並

事由:6月下旬は多照に経過したが、幼穂形成期は「きらら397」が平年比で3日、「ななつぼし」、「ゆめぴりか」が1日遅かった。7月上旬は低温に経過したため、7月中旬の気温および日照時間は平年並に経過したが、止葉始は「きらら397」が未達で、「ななつぼし」、「ゆめぴりか」が平年比で3日遅かった。

7月20日において、草丈は「きらら397」、「ななつぼし」、「ゆめぴりか」で平年比89%、87%、91%であった。茎数はそれぞれ平年比で113%、112%、108%であった。主稈葉数はそれぞれ平年比で0.1枚、0.1枚、0.3枚少なかった。すなわち、草丈は平年より短く、茎数は平年よりやや多く、葉数は平年並であった。

以上により、7月20日時点の作況は、平年並である。

6月20日 平年並

事由:5月下旬は高温、多照に経過したため、移植から活着までの日数は平年より短かった。6月上中旬は低温・寡照に経過したが、初期分けつの発生は概ね平年並であった。

6月20日において、草丈は「きらら397」、「ななつぼし」、「ゆめぴりか」で平年比93%、92%、93%であった。茎数はそれぞれ平年比で104%、99%、107%であった。主稈葉数はそれぞれ平年比で0.6枚、0.6枚、0.5枚少なかった。すなわち、草丈は平年よりやや短く、茎数は平年並からやや多く、葉数は平年よりやや少なかった。

以上により、6月20日時点の作況は、平年並である。

5月20日 平年並

事由:播種は平年より4日早い4月14日に行った。4月4半旬は寡照に経過したため、出芽に日数を要し、出芽揃は播種後7日目であった。4月下旬から5月上旬までの気温および日照時間はほぼ平年並に経過したため、その後の生育は平年並であった。移植は平年並の5月20日に行った。

移植時の苗において、草丈は「きらら397」、「ななつぼし」、「ゆめぴりか」で平年比98%、99%、100%であった。茎数はそれぞれ平年並であった。葉数はそれぞれ平年比で0.1枚、0.1枚、0.3枚多かった。100本あたりの地上部乾物重はそれぞれ平年比で121%、113%、114%であった。苗の充実度(地上部乾物重/草丈)はそれぞれ平年比で123%、114%、114%であった。すなわち、苗の草丈および茎数は平年並で、乾物重および充実度は平年を上回った。

以上により、5月20日時点の作況は、平年並である。

項目	品種名・ 苗種 年次	きらら397 中苗			ななつぼし 中苗			ゆめびりか 中苗			そらゆき 中苗(参考)
		本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年
播種期	(月.日)	4.14	4.18	△ 4	4.14	4.18	△ 4	4.14	4.18	△ 4	4.14
移植期	(月.日)	5.20	5.20	0	5.20	5.20	0	5.20	5.20	0	5.20
幼穂形成期	(月.日)	7.06	7.03	3	7.02	7.01	1	7.03	7.02	1	7.03
止葉始	(月.日)	7.21	7.16	5	7.15	7.12	3	7.16	7.13	3	7.16
出穂期	(月.日)	8.03	7.28	6	8.01	7.26	6	8.01	7.26	6	8.02
成熟期	(月.日)		9.18			9.13			9.13		
穂揃日数	(日)	6.0	6.2	△ 0.2	7.0	6.2	0.8	7.0	6.6	0.4	7.0
登熟日数	(日)		52			49			49		
生育日数	(日)		153			148			148		
移植時地上部乾物重(g/100本)		2.52	2.09	0.43	2.38	2.10	0.28	2.35	2.07	0.28	2.49
草丈 (cm)	移植時	10.1	10.3	△ 0.2	10.5	10.6	△ 0.1	10.4	10.4	0.0	10.0
	6月20日	24.8	26.6	△ 1.8	26.4	28.8	△ 2.4	27.0	28.9	△ 1.9	31.1
	7月20日	57.6	64.9	△ 7.3	62.8	71.8	△ 9.0	65.6	72.1	△ 6.5	64.6
茎数 (移植時:本/個体) (その他:本/m ²)	移植時	1.0	1.0	0.0	1.0	1.0	0.0	1.0	1.0	0.0	1.0
	6月20日	360	347	13	315	318	△ 3	373	350	23	338
	7月20日	895	793	102	848	758	90	898	835	63	890
主稈 葉数 (枚)	移植時	3.3	3.2	0.1	3.1	3.0	0.1	3.4	3.1	0.3	2.9
	6月20日	6.7	7.3	△ 0.6	6.5	7.1	△ 0.6	6.8	7.3	△ 0.5	6.3
	7月20日	10.8	10.9	△ 0.1	10.0	10.1	△ 0.1	10.2	10.5	△ 0.3	9.6
	止葉	11.0	10.9	0.1	10.0	10.2	△ 0.2	10.3	10.5	△ 0.2	9.6
稈長	(cm)	65.4	64.5	0.9	67.6	68.8	△ 1.2	66.6	67.2	△ 0.6	71.6
穂長	(cm)	16.1	16.7	△ 0.6	16.0	16.5	△ 0.5	16.4	17.0	△ 0.6	16.3
穂数	(本/m ²)	828	702	126	773	703	70	838	759	79	838
一穂粒数	(粒)		47.3			51.6			43.0		
m ² 当粒数	(百粒)		332			363			326		
稔実歩合	(%)		91.5			91.4			91.2		
登熟歩合	(%)		80.9			81.8			76.6		
籾摺歩合	(%)		76.5			77.1			74.6		
屑米歩合	(%)		6.8			5.7			8.3		
千粒重	(g)		23.5			22.7			23.3		
わら重	(kg/a)		61.1			63.3			62.1		
精粒重	(kg/a)		77.1			77.4			74.3		
精玄米重	(kg/a)		59.0			59.7			55.4		
収量平年対比	(%)		100			100			100		-
検査等級			1下			1下			1下		

注1) 平年値は前7ヶ年中、平成27年(最豊)、21年(最凶)を除く5ヶ年平均。

注2) 平成26年より「そらゆき」(中苗紙筒)の調査を開始した。

注3) 耕種概要

土 壌 : 細粒グライ土

施 肥 : 高度化成472全層施肥 N-P₂O₅-K₂O=8.0-9.7-6.9 kg/10a

播 種 量 : 中苗紙筒=130cc/箱 栽植密度 : 30.0×13.3cm 25.0株/m² 4本植え

移植方法 : 手植え 反 復 : 2

注4) 刈り取り面積は一区3.60m²。精粒重、精玄米重は水分15%換算値。使用した篩目は1.90mm。

畑作の部

作物G(長沼町)

I 気象概況

7月下旬:平均気温は平年より0.4℃低く、降水量は平年の226%、日照時間は平年の105%であり、多雨に経過した。

8月上旬:平均気温は平年より0.4℃高く、降水量は平年の281%、日照時間は平年の151%であり、多雨、多照に経過した。

8月中旬:平均気温は平年並、降水量は平年の296%、日照時間は平年の117%であり、多雨、多照に経過した。

以上、1ヶ月を通じ平均気温は平年並、降水量は平年の273%、日照時間は平年の125%であり、多雨、多照に経過した。

7月下旬～8月中旬気象表

項目	7月下旬			8月上旬			8月中旬			平均(合計)		
	本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較
最高気温(℃)	24.0	25.6	△1.6	27.9	27.3	0.6	26.1	26.6	△0.5	25.9	26.5	△0.6
最低気温(℃)	17.8	17.0	0.8	18.1	18.4	△0.3	18.5	18.3	0.2	18.1	17.9	0.2
平均気温(℃)	20.3	20.7	△0.4	22.6	22.2	0.4	21.9	21.9	0.0	21.6	21.6	0.0
降水量(mm)	76.5	33.9	42.6	90.5	32.2	58.3	169.0	57.0	112.0	336.0	123.1	212.9
降水日数(日)	3.0	2.1	0.9	4.0	2.6	1.4	4.0	2.8	1.2	11.0	7.5	3.5
日照時間(hr)	50.3	48.0	2.3	76.3	50.5	25.8	50.5	43.2	7.3	177.1	141.7	35.4

注1) 気象データはアメダス中央農試本場。欠測値および明らかな異常値はアメダス長沼で補正。

注2) 平年値は過去10年間の平均値。

注3) 最高、最低、平均気温は期間内の平均値、降水量、降水日数、日照時間は期間内の積算値。

注4) 降水日数は、24時間降水量が0.5mm以上をカウント

注5) △は減を示す。

1. 秋まき小麦(平成27年播種)

平成27年9月20日作況：平年並

事由：播種期は9月17日で平年より2日早く、安定した越冬のために必要な生育量の確保には問題のない播種時期である。

以上により、現在の作況は平年並である。

平成27年10月20日作況：平年並

事由：出芽は良好で出芽期は平年より4日早い9月23日であった。10月20日現在で一部分げつが始まっているため茎数は平年を大きく上回っているが、草丈は平年並である。

以上により、現在の作況は平年並である。

平成28年5月20日作況：良

事由：越冬前の草丈は平年並であったが茎数は大きく上回っていた。根雪終は3月17日（融雪剤散布）と平年より15日早く、積雪期間は平年より24日短い91日であった。雪腐病による冬損は見られず、越冬後の茎数は平年を大きく上回った。融雪後、3月下旬から4月上旬の気温は高く推移したため生育は順調で、5月20日現在で止葉が抽出してきている。また、草丈、茎数は平年を大きく上回っている。

以上により、現在の作況は良である。

平成28年6月20日作況：やや良

事由：出穂期は平年より8日早い5月28日であったが、6月上旬以降、低温で推移したため生育が停滞し、開花までは時間を要した。6月20日現在で草丈、茎数ともに平年を上回っており、一部倒伏が見られる。

以上により、現在の作況はやや良である。

平成28年7月20日作況：平年並

事由：6月下旬から7月上旬の間の一時期が低温で経過したため、7月20日現在で成熟期には達していない。成熟期における稈長は平年並で、穂長はやや長く、穂数は多かったが、6月中旬以降の降雨により発生した著しい倒伏による粒の充実不足が懸念される。

以上により、現在の作況は平年並である。

平成28年8月20日作況：不良

事由：成熟期は平年より3日遅い7月21日であった。千粒重は平年並だったが、容積重は小さく、子実重は平年比71%と低収であった。

以上により、現在の作況は不良である。

品種名		きたほなみ		
		本年	平年	比較
項目 \ 年次				
播種期	(H27.月.日)	9.17	9.19	△ 2
出芽期	(H27.月.日)	9.23	9.27	△ 4
出穂期	(H28.月.日)	5.28	6.5	△ 8
成熟期	(H28.月.日)	7.21	7.18	3
冬損程度	(0:無~5:甚)	0.0	0.8	△ 0.8
草丈	H27.10.20	17.9	17.8	0.1
(cm)	H28.5.20	64.9	44.6	20.3
	H28.6.20	105.9	97.1	8.8
茎数	H27.10.20	1154	586	568
(本/m ²)	越冬前(11月)	1770	1227	543
	越冬後(4月)	3181	1728	1453
	H28.5.20	1541	1276	265
	H28.6.20	956	749	207
成熟期に	稈長 (cm)	92	88	4
おける	穂長 (cm)	9.8	8.8	1.0
	穂数 (本/m ²)	856	684	172
倒伏程度	(0:無~5:甚)	5.0	0.4	4.6
子実重	(kg/10a)	521	729	△ 208
容積重	(g/l)	796	811	△ 15
千粒重	(g)	39.2	38.5	0.7
品質	(等級)		2等	
子実重平年対比 (%)		71	100	△ 29

注1) 平年値: 前7か年中、平成25年(最凶)、平成21年(最豊)を除く5か年平均(収穫年度)

注2) △は平年より早、短、少を表す。

注3) 倒伏程度: 成熟期における倒伏程度。

注4) 容積重はブラウエル穀粒計により測定した値。

2. 春まき小麦

5月20日作況: やや良

事由: 根雪終(融雪剤散布)は、平年より15日早い3月17日であった。播種期は平年より5日早い4月12日であり、その後、気温はおおむね平年並に推移し、出芽期は平年より5～6日早かった。5月上旬以降、気温が平年並から高かったことから、生育が進み、現在のところ、草丈、茎数とも平年を上回っている。

以上により、現在の作況はやや良である。

6月20日作況: 平年並

事由: 6月上～中旬の気温が低かったことから、生育がやや緩慢となり、出穂期は平年より1～3日早いにとどまった。草丈は平年並で、茎数は分けつの無効化がやや進んでいるため、やや少ない。

以上により、現在の作況は平年並である。

7月20日作況: 平年並

事由: 稈長と穂長は平年並で、穂数は多い。6月21日以降、軽微な倒伏が発生し始め、7月18日の降雨で「春よ恋」で少～中程度の倒伏が発生した。また、出穂揃～開花始にかけて降雨が続いたことにより、赤かび病の発生が認められる。品質への影響が懸念される。

以上により、現在の作況は平年並である。

8月20日作況: 良

事由: 出穂期以降の気温が低めに推移したことから、登熟期間がやや伸び、成熟期は平年より4日遅くなった。成熟期の倒伏程度は「春よ恋」でほぼ全面倒伏、「はるきり」で中～多程度であった。千粒重はやや軽かったが、穂数が多かったため、子実重は平年比121～125%の多収となった。リットル重は平年より軽い。

以上により、現在の作況は良である。

項目 \ 年次	品種名	春よ恋			はるきり		
		本年	平年	比較	本年	平年	比較
播種期	(月.日)	4.12	4.17	△ 5	4.12	4.17	△ 5
出芽期	(月.日)	4.26	5.01	△ 5	4.26	5.02	△ 6
出穂期	(月.日)	6.16	6.17	△ 1	6.13	6.16	△ 3
成熟期	(月.日)	8.02	7.29	4	8.04	7.31	4
草丈	5月20日	28.9	19.6	9.3	29.2	22.2	7.0
(cm)	6月20日	84	82	2	85	82	3
茎数	5月20日	921	547	374	823	525	298
(本/m ²)	6月20日	678	718	△ 40	578	691	△ 113
7月20日	稈長 (cm)	92	91	1	93	90	3
または	穂長 (cm)	8.5	8.4	0.1	7.9	7.6	0.3
成熟期	の 穂数 (本/m ²)	556	472	84	524	462	62
子実重	(kg/10a)	536	442	94	544	435	109
千粒重	(g)	36.3	38.9	△ 2.6	40.5	42.5	△ 2.0
リットル重	(g)	782	797	△ 15	782	799	△ 17
品質	(等級)		2等			2等	
子実重平年対比	(%)	121	100	21	125	100	25

注) 平年値は前7カ年中、平成23年(最凶)、平成24年(最豊)を除く5カ年平均。

リットル重は1リットル升による測定。

3. 大豆

6月20日 やや不良

事由:播種期は平年より3日遅い5月24日で、出芽期も平年より3日遅かった。出芽後の6月上中旬は気温が低く、降水量が多かったため、生育が停滞し、主茎長は平年よりやや短く、主茎節数はやや少ない。

以上により、現在の作況はやや不良である。

7月20日 やや不良

事由:6月～7月上旬の気温が低く推移したため、生育は遅れており、開花期に達していない。主茎長は平年より短い。主茎節数は同程度で分枝数はやや多い。

以上により、現在の作況はやや不良である。

8月20日 やや良

事由:開花期は平年より8日遅かった。7月下旬以降、平均気温は平年並、日照時間は平年並～多く推移した。主茎長は平年より長く、主茎節数、分枝数および着莢数は平年よりやや多い。

以上により、現在の作況はやや良である。

品種名		トヨムスメ		
		項目 \ 年次	本年	平年
播種期	(月.日)	5.24	5.21	3
出芽期	(月.日)	6.6	6.3	3
開花期	(月.日)	7.22	7.14	8
成熟期	(月.日)		9.29	
主茎長 (cm)	6月20日	9.9	11.7	△ 1.8
	7月20日	37.3	45.9	△ 8.6
	8月20日	63.2	52.0	11.2
	9月20日		52.2	
	成熟期		51.8	
主茎節数 (節)	6月20日	2.4	3.1	△ 0.7
	7月20日	9.2	9.5	△ 0.3
	8月20日	10.4	9.7	0.7
	9月20日		9.8	
	成熟期		9.7	
分枝数 (本/株)	7月20日	8.2	6.4	1.8
	8月20日	8.3	7.2	1.1
	9月20日		7.1	
	成熟期		6.8	
着莢数 (莢/株)	8月20日	81.1	72.3	8.8
	9月20日		67.6	
	成熟期		66.0	
一莢内粒数			1.88	
子実重 (kg/10a)			401	
百粒重 (g)			40.1	
屑粒率 (%)			1.4	
品質 (等級)			3上	
子実重平年対比 (%)			100	

注) 平年値は前7カ年中、平成21年(最凶)、26年(最豊)を除く5カ年平均。

4. 小豆

6月20日作況：平年並

事由：播種期は平年より1日早い5月24日であった。6月上旬は低温で推移したが出芽は良好で、出芽期は平年より2日早い6月10日であった。6月20日現在で主茎長は平年より長く、主茎節数は平年よりやや少ない。

以上により、現在の作況は平年並である。

7月20日作況：やや不良

事由：6月下旬から7月上旬の間の一時期が低温で経過したため、7月20日現在で主茎長は平年より9cm短く、主茎節数、分枝数は平年より少ない。

以上により、現在の作況はやや不良である。

8月20日作況：やや良

事由：開花期は平年より2日遅い7月24日であった。7月下旬以降、平均気温は平年並、日照時間は平年並～多く推移した。8月20日現在で主茎長は16.3cm長く、分枝数は少ないが、主茎節数、着莢数は平年をやや上回っている。

以上により、現在の作況はやや良である。

品種名		エリモシヨウズ		
		本年	平年	比較
項目 \ 年次				
播種期	(月.日)	5.24	5.25	△ 1
出芽期	(月.日)	6.10	6.12	△ 2
開花期	(月.日)	7.24	7.22	2
成熟期	(月.日)		9.04	
主茎長 (cm)	6月20日	4.0	3.4	0.6
	7月20日	14.9	24.1	△ 9.2
	8月20日	76.7	60.4	16.3
	成熟期		60.6	
主茎節数 (節)	6月20日	1.2	1.4	△ 0.2
	7月20日	8.0	9.4	△ 1.4
	8月20日	15.5	13.7	1.8
	成熟期		13.7	
分枝数 (本/株)	7月20日	2.3	3.6	△ 1.3
	8月20日	3.0	3.8	△ 0.8
	成熟期		3.8	
着莢数 (莢/株)	8月20日	63.8	55.1	8.7
	成熟期		52.5	
一莢内粒数			5.77	
子実重	(kg/10a)		290	
百粒重	(g)		12.4	
屑粒率	(%)		3.1	
品質	(等級)		3下	
子実重平年対比	(%)		100	

注) 平年値は前7カ年中、平成27年(最豊)、平成25年(最凶)を除く5カ年平均。

5. ばれいしょ

5月20日作況：平年並

事由：本年の根雪終は平年より15日早い3月17日（融雪剤散布）で、植付期は平年より5日早い4月22日であった。5月20日現在で一部萌芽は始まっているものの、萌芽期には至っていない。

以上により、現在の作況は平年並である。

6月20日作況：やや良

事由：萌芽期は平年と同日の5月22日であった。6月上～中旬は低温、多雨、寡照で推移したが生育は順調で、茎数はやや少ないものの、茎長は平年を上回っている。

以上により、現在の作況はやや良である。

7月20日作況：やや良

事由：開花始は平年と同日の6月21日であった。7月上旬が低温に推移し、茎数はやや少ないものの、茎長は平年を上回っている。

以上により、現在の作況はやや良である。

8月20日作況：良

事由：枯凋期は平年より7日早い8月13日であった。株当たりの上いも数は平年並であったが、上いも平均一個重が重かったため、上いも重は平年より10%、中以上いも重は同19%、それぞれ上回った。でん粉価は平年よりやや低かった。

以上により、現在の作況は良である。

項目 \ 年次	品種名	男爵薯		
		本年	平年	比較
植付期	(月.日)	4.22	4.27	△ 5
萌芽期	(月.日)	5.22	5.22	0
開花始	(月.日)	6.21	6.21	0
枯凋期	(月.日)	8.13	8.20	△ 7
茎長	6月20日	51	36	15
(cm)	7月20日	59	47	12
茎数	6月20日	4.3	4.8	△ 0.5
(本/株)	7月20日	4.2	4.7	△ 0.5
8月20日における				
上いも数	(個/株)	—	11.7	—
上いも平均一個重(g)		—	89	—
上いも重	(kg/10a)	—	4535	—
でん粉価	(%)	—	15.5	—
枯凋期における				
上いも数	(個/株)	11.7	12.0	△ 0.3
上いも平均一個重(g)		99	87	12
上いも重	(kg/10a)	5088	4611	477
中以上いも重(kg/10a)		4548	3830	718
でん粉価	(%)	14.9	15.4	△ 0.5
上いも重平年対比 (%)		110	100	10
中以上いも重 " (%)		119	100	19
でん粉価 " (%)		97	100	△ 3

注) 平年値は前7か年中、平成21年(最凶)、22年(最豊)を除く5か年平均。

「上いも」は20g/個以上、「中以上いも」は60g/個以上。